

# あきつ



No.14 令和6年 7月10日  
校長 太良木 香江

## 子どもたちも職員も学んでいます。

7月に入り、気温が高い日が続いており、熱中症に気を付けながら教育活動を行っています。先週は子どもたちも職員も学びの深まりを感じた出来事がありました。

### その1 4年2組 研究授業



本校の校内研修については、学校だよりのNo.8、9でもお知らせしました。学校教育目標を基盤とし、「自ら考え主体的に行動する子どもの育成～教師一人一人の課題からスタートする、『授業改善プロジェクト』～」の研究テーマのもと取り組んでいます。職員一人一人が、自分の授業を省察したところ、特に「対話」「子ども主体の学び」「協動的な学び」「振り返り」が課題として挙げられました。この課題でチームを編成し、チームで対話を重ねたり職員一人一人が自分の課題を解決したりして「探究」し、授業力向上をめざしていきたくて考えています。

7月1日に4年2組で算数の研究授業が行われました。「2直線の交わり方を調べ、垂直の意味を理解する」という内容の授業でした。「宝さがしゲームをしよう」と子どもたちがワクワクするような設定で、地図の中にある垂直（垂直に宝が隠されています）を探しました。そして「対話」を通して垂直の定義を理解したり、教室の中の垂直をペアで見つけたりし、子どもたちが主体的に授業に取り組む姿が見られました。

研究授業後の研究会で、職員はチームや全体で対話し、自分の授業にどのように生かしていくか考えました。今後、その考えを実践し自分の課題を解決するために探究していきます。この研究授業を通して子どもも職員も**主体的に**学ぶ姿がとても印象的でした。

### その2 心つながる秋津集会（健康教育課・指導課学校訪問）

8年前の熊本地震の際、秋津校区は熊本市の中で最も被害が大きい地域でした。その時の経験を生かし、現在も地域の皆様が研修会等を通して人々の命を守るために行動しておられる姿を私も目の当たりにし、その団結力に感心するばかりです。

本校でも毎月16日を「防災の日」として防災学習や避難訓練を行い、防災への意識を高めています。7月5日に「心つながる秋津集会」を行いました。この集会は熊本地震の記憶（体験や教訓）を次世代につなぐことで災害時に「自助」「共助」の心で互いに支えるようにすることを目的に毎年行っています。

集会は生活安全委員会、計画委員会の進行で進められました。その中で体育委員会、保健委員会、給食委員会の子もたちが「もし避難所生活になったときに自分たちでできること」について発表しました。避難所生活で少しでも健康に安心して過ごせるように「ラジオ体操、ストレッチ、リラクゼーション、傷の手当の仕方、そして体育館内にある防災倉庫の中の備蓄品について」クイズ等も交えながら子どもたちが**自ら考えた**内容でした。また学校栄養職員の古閑から災害に備えて常に一定量の食料を備蓄しておくローリングストックについての話もありました。これらの話を聞いて、子どもたちは日頃からの備えが大切であることを学びました。地域からも4人の皆様にこの集会に参加していただき、被災当時に取り組みされたこと、そして子どもたちへ防災頭巾の活用や命を守る行動についてのアドバイスをいただきました。健康教育課、指導課の教育委員会の方々も、子どもたちが真剣に学ぶ姿を参観し、「とてもすばらしい集会を見せてもらった」とお褒めの言葉をおっしゃいました。



### 【 学校教育目標 】

一人一人が輝く、笑顔あふれる学校  
自ら考え主体的に行動する人を育てる教育の推進  
～考える子・チャレンジする子・つながり合う子～



7月の生活目標 **身の回りをきれいにしよう**  
～自分のものも、みんなで使うものも、  
気持ちよく使えるようにしよう～

**あきつ** あかるいあいせつ  
きれいな学校  
つながるこころ  
つながり合おう

ホームページ  
QRコード